

2018年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月8日  
東

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所  
コード番号 7228 URL <http://www.daytona.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 織田 哲司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 杉村 靖彦 (TEL) 0538(84)2200  
四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第3四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	6,056	30.8	481	65.1	495	61.2	337	62.4
2017年12月期第3四半期	4,631	2.2	291	△4.2	307	8.3	207	13.9

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 333百万円(60.9%) 2017年12月期第3四半期 207百万円(13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	143.87	140.10
2017年12月期第3四半期	98.60	96.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第3四半期	6,840	2,949	42.6
2017年12月期	6,619	2,643	39.6

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 2,915百万円 2017年12月期 2,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2018年12月期	—	0.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,172	30.8	472	28.6	485	27.1	313	23.4	133.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年12月期3Q	3,604,600株	2017年12月期	3,604,600株
2018年12月期3Q	1,260,597株	2017年12月期	1,260,597株
2018年12月期3Q	2,344,003株	2017年12月期3Q	2,106,628株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年東京五輪関連の需要期待や、企業の設備投資増加基調が見られ、景気回復の動きは依然続いております。また、海外経済においても、引き続き景気回復基調ではありますが、アメリカ・中国間での本格的な貿易摩擦やアメリカ金利上昇による国際金融の不安定化等、今後の世界景気において不安材料も顕在化しております。

二輪車業界では、バイクツーリングシーズンが春から秋にかけて最盛期を迎えました。当期間は西日本豪雨や台風、地震と被害の大きい自然災害もありましたが、全般的には天候に恵まれ、バイク用品店への客足は昨年同様順調に推移しました。

当社グループにおいては、売上高に関して、国内拠点卸売事業および小売事業では当連結会計年度から連結対象子会社2社が加わったことによる売上増のほか、第2四半期連結累計期間に続き、従来から展開している(株)デイトナおよび(株)ライダーズ・サポート・カンパニーともに売上が順調に推移しました。一方、アジア拠点卸売事業売上は主要取引先での在庫調整の影響で前年同四半期を下回りましたが、こちらは前期決算短信での当年度連結業績予想ですでに織り込み済みであります。利益に関しては、新たに加わった連結対象子会社2社の利益が貢献したことにより、国内拠点卸売事業、小売事業ともにセグメント損益が前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は60億56百万円（前年同四半期比30.8%増）、営業利益は4億81百万円（前年同四半期比65.1%増）、経常利益は4億95百万円（前年同四半期比61.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億37百万円（前年同四半期比62.4%増）となりました。

## [国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、(株)デイトナと当連結会計年度から(株)ダートフリークが加わっております。(株)デイトナでは、インカム、スマホマウント、ツーリングバッグなどのツーリング用品に加え、ヘルメット、グローブ、バイク用ガレージ、電動アシスト自転車等の国内向け販売が第2四半期同様、順調に推移しました。また、(株)ダートフリークのオフロード関連卸売事業においても売上高、利益ともに好調に推移したことにより、国内拠点卸売事業は前年同四半期と比べ大きく増加しました。この結果、売上高は45億3百万円（前年同四半期比43.5%増）、セグメント利益は4億15百万円（前年同四半期比74.9%増）となりました。

なお、(株)デイトナが12月末決算であるのに対し(株)ダートフリークは9月末決算であるため、当第3四半期連結累計期間においては、(株)ダートフリークの前年10月から当年6月までの経営成績を連結しております。

## [アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、第3四半期期間に入り、主要取引先である補修・消耗品販売卸業者が仕入調整過程に入った結果、前年同四半期と比べ売上高、セグメント利益共に下回りましたが、この結果は前期決算短信での当年度連結業績予想に織り込み済みであります。結果、売上高は1億83百万円（前年同四半期比48.7%減）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比88.1%減）となりました。

## [小売事業]

小売事業では、バイク用部品用品小売店舗等を展開する(株)ライダーズ・サポート・カンパニーと当連結会計年度から主に(株)ダートフリークの商品をインターネットで販売する(株)プラスを加えております。(株)ライダーズ・サポート・カンパニーでは、第2四半期連結累計期間に引き続き、車両販売事業が順調に売上を伸ばしたほか、用品小売事業もライディングウェア類やヘルメットを中心とした店舗の品揃えの充実等、お客様に魅力を感じてもらった売場改革の効果が出始めたことにより、前年同四半期と比べ売上と利益ともに伸ばすことが出来ました。(株)プラスも目標を上回る順調な推移を継続し、この結果、売上高は14億64百万円（前年同四半期比27.4%増）、セグメント利益は86百万円（前年同四半期はセグメント利益7百万円）となりました。

なお、(株)ライダーズ・サポート・カンパニーが12月末決算であるのに対し(株)プラスは9月末決算であるため、当第3四半期連結累計期間においては、(株)プラスの前年10月から当年6月までの経営成績を連結しております。

## [その他]

太陽光発電事業においては、2012年当社屋上に300kW、2014年当社敷地内に500kW、そして2016年沼津市郊外に500kWの太陽光発電施設を設置し、計1,300kWの発電力で現在稼動しております。当第3四半期連結累計期間

においては、天候不良により前年同四半期と比べて売電額は若干減少しましたが、減価償却費をはじめとする経費減少により、利益は前年同四半期と比べ上回りました。また、昨年5月から新たな事業として加わったリユースWEB事業では、第3四半期連結累計期間においてECサイトでの中古品販売売上が第2四半期同様、伸長しました。一方でアプリ手数料事業はダウンロード数とアクティブユーザーの獲得を最優先とする先行投資を行っております。この結果、その他事業における売上高は75百万円（前年同四半期比27.5%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント利益2百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7.4%増加し、42億90百万円となりました。これは、たな卸資産が2億55百万円増加したことなどによります。

### (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.9%減少し、25億49百万円となりました。これは、投資その他の資産が31百万円増加しましたが、有形固定資産が57百万円、無形固定資産が49百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億20百万円増加し、68億40百万円となりました。

### (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15.5%増加し、24億24百万円となりました。これは、短期借入金が3億15百万円増加したことなどによります。

### (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ21.9%減少し、14億66百万円となりました。これは、長期借入金3億94百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、38億90百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ11.6%増加し、29億49百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、現時点で売上高はおおむね予想通りの推移となっております。営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期純利益については、やや予想を上回る推移となっておりますが、現段階において当初予想の修正はございません。

しかしながら今後の為替の状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因により、業績への影響が発生する場合がございますので、今後の状況を勘案しながら、必要に応じて修正発表をまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	764,017	777,988
受取手形及び売掛金	790,910	797,160
たな卸資産	2,131,516	2,387,077
その他	313,627	334,826
貸倒引当金	△6,441	△6,649
流動資産合計	3,993,629	4,290,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	610,335	580,904
土地	863,962	863,361
その他(純額)	389,497	362,143
有形固定資産合計	1,863,794	1,806,409
無形固定資産		
のれん	650,538	601,747
その他	75,559	74,733
無形固定資産合計	726,097	676,480
投資その他の資産		
その他	36,766	67,842
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	35,961	67,037
固定資産合計	2,625,854	2,549,927
資産合計	6,619,483	6,840,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,391	377,104
短期借入金	1,246,752	1,562,133
賞与引当金	48,530	63,499
未払法人税等	85,753	115,402
その他	340,608	305,895
流動負債合計	2,098,036	2,424,034
固定負債		
長期借入金	1,817,911	1,423,232
退職給付に係る負債	798	849
その他	59,150	42,218
固定負債合計	1,877,860	1,466,300
負債合計	3,975,896	3,890,334
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	485,563	485,563
利益剰余金	2,368,615	2,668,355
自己株式	△628,736	△628,736
株主資本合計	2,637,898	2,937,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,383	△22,292
その他の包括利益累計額合計	△18,383	△22,292
新株予約権	23,894	34,434
非支配株主持分	178	215
純資産合計	2,643,587	2,949,996
負債純資産合計	6,619,483	6,840,330

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)
売上高	4,631,320	6,056,721
売上原価	2,831,693	3,493,744
売上総利益	1,799,626	2,562,977
販売費及び一般管理費	1,507,784	2,081,133
営業利益	291,842	481,844
営業外収益		
受取手数料	7,063	7,428
保険解約返戻金	—	14,796
試作品等売却代	12,216	9,499
その他	8,788	13,303
営業外収益合計	28,068	45,027
営業外費用		
支払利息	7,569	12,586
為替差損	3,286	17,222
その他	1,653	1,383
営業外費用合計	12,508	31,192
経常利益	307,402	495,679
特別利益		
固定資産売却益	1,974	487
特別利益合計	1,974	487
特別損失		
固定資産除却損	70	—
特別損失合計	70	—
税金等調整前四半期純利益	309,306	496,167
法人税、住民税及び事業税	125,294	204,590
法人税等調整額	△23,937	△45,721
法人税等合計	101,356	158,868
四半期純利益	207,950	337,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	232	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,717	337,244



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	207,950	337,298
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△807	△3,925
その他の包括利益合計	△807	△3,925
四半期包括利益	207,142	333,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,913	333,336
非支配株主に係る四半期包括利益	229	37

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年3月23日 定時株主総会	普通株式	35,812	17.0	2016年12月31日	2017年3月24日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月27日 定時株主総会	普通株式	37,504	16.0	2017年12月31日	2018年3月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,080,808	341,919	1,149,535	4,572,263	59,056	4,631,320	—	4,631,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,427	15,872	151	74,451	—	74,451	△74,451	—
計	3,139,235	357,792	1,149,686	4,646,715	59,056	4,705,772	△74,451	4,631,320
セグメント利益	237,704	44,856	7,235	289,796	2,133	291,930	△87	291,842

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益の調整額△87千円には、セグメント間取引消去△183千円、たな卸資産の調整額197千円、固定資産の調整額△101千円等が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,334,510	183,138	1,463,792	5,981,441	75,280	6,056,721	—	6,056,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169,377	480	362	170,220	—	170,220	△170,220	—
計	4,503,887	183,618	1,464,155	6,151,661	75,280	6,226,942	△170,220	6,056,721
セグメント利益又は損 失(△)	415,717	5,356	86,036	507,111	△852	506,258	△24,414	481,844

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,414千円には、セグメント間取引消去2,888千円、たな卸資産の調整額△27,904千円、固定資産の調整額598千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。